

信 楽 高 原 鐵 道 株 式 會 社

令和5年度事業計画

信楽高原鐵道 株式会社

1 基本方針

昭和62年7月に第三セクター鐵道として開業以来、鐵道施設等の保有と列車の運行の双方を行う第一種鐵道事業者として運営を行ってきたが、平成25年度からは、上下分離方式を採用し、列車の運行のみを行う第二種鐵道事業者として再出発した。平成25年台風18号による被災により、同年9月から全線運休となり、代行バスによる運行を行ってきたが、災害復旧工事の完了により、平成26年11月29日から運行を再開した。

平成25年度から開始した鐵道事業再構築実施計画は、令和4年度で計画期間が終了したが、令和5年度においても引き続き、安心・安全の公共交通機関として、運営基盤の強化を進める。特に、アフターコロナにおける社会活動の変化を見据えつつ、地域住民の利用増進と観光誘客を柱とした利用者拡大と経営の合理化を進める。

2 事業計画

(1) 鐵道事業

コロナ禍を契機とした生活様式の変容による移動需要の減少や、原油価格を始めとする物価の高騰等、厳しい経営環境が続いているが、引き続き、地域住民の利用をさらに促進していくほか、観光誘客をより積極的に展開するとともに、新たなイベント実施や商品開発、営業活動、沿線修景事業等に取り組む。特に令和5年度は、春の「駅前陶器市」、秋の「信楽陶器まつり」との連携、バス・旅行会社への営業活動等を行うほか、「桃太郎電鉄コラボ鉄印」の企画や「鐵道むすめ」との連携など、関係団体と連携した新たな鐵道関連収益事業の開発、検討を推進する。

また、鐵道施設の安全確保のため、施設を所有する第三種鐵道事業者である甲賀市において、枕木や軌道道床等の線路設備の整備、車両検査、橋梁の塗装等を実施する。

(2) 付帯事業

駅構内の店舗の賃貸、レンタサイクルの利用促進等に努める。

収 支 予 算 書

自 令 和 5 年 4 月 1 日

至 令 和 6 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
1 営業収入	171,088	166,013	5,075	
旅客収入	76,758	80,500	△ 3,742	
受託収入	84,479	81,000	3,479	
運輸雑収入	9,851	4,513	5,338	
2 営業外収入	378	398	△ 20	
収入合計	171,466	166,411	5,055	
1 営業費用	162,966	158,106	4,860	
人件費	85,000	85,694	△ 694	
修繕費	36,710	30,625	6,085	
動力費	9,600	9,000	600	
経費	26,996	28,127	△ 1,131	
諸税	2,860	2,860	-	
減価償却費	1,800	1,800	-	
2 営業外費用	5,919	7,840	△ 1,921	
費用合計	168,885	165,946	2,939	
経常損益	2,581	465	2,116	
税引前損益	2,581	465	2,116	

令和4年度事業報告

信楽高原鐵道 株式会社

1 事業概要

当社は第三セクター鐵道として、安全で安定した地域公共交通の確保および利用者の拡大に努めてきたが、経営安定化を図るために、平成25年4月1日に、鐵道施設等の保有と運行の双方を行う第一種鐵道事業者から、公有民営の上下分離方式を採用し、鐵道施設等を保有する甲賀市から貸与を受けて列車の運行のみを行う第二種鐵道事業者へ轉換した。

令和4年度においても、安全運行を第一に、施設整備を着実に行ったほか、利用促進の取組を展開した。

2 事業実績

(1) 鐵道事業

ア 旅客輸送事業

(ア) 輸送人員

339,111人（うち定期 229,440人、定期外 109,671人）

前年度と比べ、2.0%（6,765人）増となった。

(イ) 旅客輸送収入

75,886千円（うち定期 35,711千円、定期外 40,175千円）

前年度と比べ、12.7%（8,538千円）増となった。

イ 誘客事業

地元利用客および観光客の利用増加を図るため、以下の事業を行った。

(ア) 甲賀市「スカーレットプロジェクト推進事業」と連携した観光誘客

(イ) 甲賀忍者をテーマにしたラッピング列車の運行（311号車・312号車）

(ウ) 信楽高原鐵道利用促進協議会との連携による「陶製干支切符」の販売

(エ) 近江鐵道株式会社との連携による「びわこ京阪奈線フリーきっぷ」の販売

(オ) スマートフォンアプリを利用した乗車券の販売

(カ) サンタ列車の運行（401号車）

(キ) ひな祭り列車の運行（401号車）

(ク) 修景事業として、うしかい田んぼアート実行委員会との連携による田んぼアート

(ケ) クラウドファンディングによる玉桂寺前駅ラッピング

(2) 付帯事業

ア 駅構内店舗の賃貸事業

イ レンタサイクル事業

損 益 計 算 書

自 令 和 4 年 4 月 1 日
至 令 和 5 年 3 月 3 1 日

(単位 円)

科 目	金 額	
鉄 道 事 業		
営 業 収 益	161,159,207	
営 業 費	166,816,690	
営 業 利 益		△ 5,657,483
付 帯 事 業		
営 業 収 益	5,372,273	
営 業 費	1,728,361	
営 業 利 益		3,643,912
全 事 業 営 業 利 益		△ 2,013,571
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	2,166	
そ の 他 の 収 益	9,149,951	9,152,117
営 業 外 費 用		
そ の 他 の 費 用	10,129,645	10,129,645
経 常 利 益		△ 2,991,099
そ の 他 特 別 利 益	14,190,599	14,190,599
そ の 他 特 別 損 失	-	-
税 引 前 当 期 純 利 益		11,199,500
法 人 税 ・ 住 民 税 及 び 事 業 税		304,624
過 年 度 法 人 税		-
当 期 純 利 益		10,894,876

貸 借 対 照 表

令和 5 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流 動 資 産	146,276,083	流 動 負 債	31,010,066
現 金 ・ 預 金	107,294,824	買 掛 金	14,623,643
未 収 運 賃	662,510	未 払 金	2,385,620
未 収 金	34,321,697	未 払 法 人 税 等	1,732,600
棚 卸 商 品	1,903,053	未 払 費 用	6,224,286
貯 蔵 品	1,175,309	預 り 連 絡 運 賃	214,850
そ の 他 流 動 資 産	918,690	預 り 金	900,437
固 定 資 産	21,697,831	前 受 運 賃	1,807,570
鉄 道 事 業 固 定 資 産	3,553,309	未 払 消 費 税	3,086,200
有 形 固 定 資 産	3,116,506	そ の 他 流 動 負 債	34,860
無 形 固 定 資 産	436,803	固 定 負 債	14,830,900
投 資 等	18,144,522	退 職 給 付 引 当 金	14,830,900
長 期 前 払 費 用	18,121,832	負 債 計	45,840,966
差 入 保 証 金	22,690		
繰 延 資 産	-	(純資産の部)	
		株 主 資 本	122,132,948
		資 本 金	432,000,000
		利 益 剰 余 金	△ 309,867,052
		純 資 産 計	122,132,948
資 産 合 計	167,973,914	負 債 ・ 純 資 産 合 計	167,973,914